

サクラ病理技術賞について

「サクラ病理技術賞」は、
サクラファインテックジャパン株式会社が、
病理技術者やその団体、研究者を対象として、
学術研究のみならず地域活動や
後進育成など幅広い活動の中から
特に優れた成果を挙げられた方々を表彰する
制度として2008年に創設したものです。



サクラファインテックジャパン株式会社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル

TEL.03-5643-2630

URL.<http://www.sakura-finetek.com/>

L639.1606.500.D

施設発表 ―病理標本作製における工夫―

1. 当院で採用しているマーキング色素について

片桐恭雄 様 岐阜大学医学部附属病院 病理部

2. 前立腺針生検におけるベッドサイド細胞診

今野和治 様 桑名市総合医療センター（桑名西医療センター）病理検査室

3. 前臨床試験における病理組織標本作製について

中野健二 様 アステラスリサーチテクノロジー株式会社 安全性研究部

特別講演

「ソフト面から職場を変える」

村田哲也 先生 JA三重厚生連 鈴鹿中央総合病院 副院長

病理検査は臨床医学のなかで重要な位置を占めています。その業務は職人的な要素も多く、来場される皆様のほぼ全員が病理検査の仕事にやりがいを感じていることと思います。従来からの H・E 染色に加え、免疫染色や分子病理学的検査など、病理検査の幅も広がり、皆様の両肩にかかる期待も増してきました。また病理検査に関する機器の改善や開発も活発になり、一昔前に比べ病理検査室のハードはかなり進歩したと感じています。とはいえ、皆様は職場の他職種の人たちからどのように評価されているでしょうか。そしてその評価は満足できるものでしょうか。今回は皆様の評価向上につながるようなソフト面からの業務改善についてお話したいと思います。

村田先生のご略歴



むらた てつや
村田 哲也 先生

JA三重厚生連 鈴鹿中央総合病院 副院長(病理診断科、中央検査科)

1984年三重大学医学部卒業後、三重大学および新潟大学で内科の研修後、三重大学で実験病理に従事。

1990年よりJA三重厚生連中勢総合病院臨床病理科、1993年よりJA三重厚生連鈴鹿中央総合病院にて勤務され、2006年より同診療部長、2008年より現職を務められています。

三重大学医学部非常勤講師および臨床教授として後進の指導にあたる傍ら、日本病理学会、日本臨床細胞学会、日本臨床検査医学会などの評議員や各種委員会での活動を精力的にこなしておられます。

第8回 サクラ病理技術賞授賞式 および 受賞記念特別講演会

- 日時
平成28年6月25日(土) 14:00~19:00
- 会場
愛知県産業労働センター
ウインクあいち



式次第

第一部 授賞式

(14:00 ~ 15:40)

施設発表「病理標本作製における工夫」
選考総評および表彰
受賞記念プレゼンテーション

第二部 特別講演

(16:00 ~ 17:00)

特別講演「ソフト面から職場を変える」

第三部 レセプション

(17:15 ~ 19:00)

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会 病理細胞部門 活動紹介

ご挨拶

本日は第8回サクラ病理技術賞授賞式ならびに受賞記念特別講演会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。『サクラ病理技術賞』は、病理学的検査・技術に関する活動を支援する独自の褒賞制度として2008年に創設されました。その意義は、「病理標本作製技術を担う技師の方々へのモチベーションの一助」にあると考えております。対象としておりますのは、研究論文は勿論、日常業務での技術・知識の向上、後進技師の育成(技術の伝承)、地域医療への顕著な貢献といった活動です。最先端技術を使って病理標本作製の新しい道を切り開く探求と同様、若い方々に標本作製の基礎技術をしっかり伝えていくことも価値あることと考えております。今回の授賞式が、皆様方のさらなる交流の場となるよう、準備させていただきました。どうぞごゆっくりとお過ごし下さい。

サクラファインテックジャパン株式会社
代表取締役 会長

石塚 悟

第8回「サクラ病理技術賞」受賞者 (敬称略)

サクラ病理技術賞

郡司昌治

Masaharu Gunji
名古屋第一赤十字病院 細胞診分子病理診断部

【受賞理由】
検査室内における分子病理学的手法における病態解析技術の確立と、その検査技術の全国的な啓蒙および後進技師育成による地域貢献など

松本賞

徳永英博

Hidehiro Tokunaga
熊本大学医学部附属病院 医療技術部 病理技術部門

【受賞理由】
学会活動を通じての病理精度管理の全国的活動および後進技師の育成、認定病理検査技師制度創設への貢献による病理技師の地位向上への取り組みなど

これまでに受賞された皆様

※敬称略・所属は受賞当時の名称を記載

第1回(2008年度)
サクラ病理技術賞
滝野 寿 名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床病態病理学
川井健司 (財)実験動物中央研究所 病理病態研究部 分子形態研究室
特別賞
北海道臨床衛生検査技師会形態部門

第2回(2009年度)
サクラ病理技術賞
岩井宗男 滋賀医科大学医学部附属病院検査部・病理部
大崎博之 香川県立保健医療大学臨床検査学科
特別賞
社団法人 神奈川県臨床衛生検査技師会病理検査研究班
二反田隆夫 鹿児島大学病院 臨床技術部・病理部

第3回(2010年度)
サクラ病理技術賞
鈴木孝夫 昭和大学横浜市北部病院病理部
佐々木政臣 大阪市立大学医学部附属病院病理部
奨励賞
加藤智行 浜松医科大学附属病院病理部
松本賞
廣井禎之 防衛医科大学校臨床検査医学講座

第4回(2011年度)
サクラ病理技術賞
百瀬正信 信州大学医学部附属病院臨床検査部
奨励賞
柳田絵美衣 神戸大学医学部附属病院病理部 先端組織染色センター
東 学 北海道がんセンター 臨床検査科
松本賞
清水秀樹 日本医科大学千葉北総病院病理部

第5回(2012年度)
サクラ病理技術賞
山下和也 北里大学病院病院病理部
古屋周一郎 筑波大学附属病院病理部
奨励賞
西川 武 奈良県立医科大学附属病院病院病理部
石田克成 国立病院機構浜田医療センター臨床検査科
松本賞
小川勝成 広島大学病院診療支援部病理検査部門

第6回(2013年度)
サクラ病理技術賞
磯崎 勝 小田原市立病院病理診断科
奨励賞
中村広基 西尾市民病院臨床検査室
松本賞
畠 榮 川崎医科大学附属川崎病院病理部

第7回(2014年度)
サクラ病理技術賞
池田 聡 茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院
土浦協同病院 臨床検査部
奨励賞
芹澤昭彦 東海大学医学部付属病院 病理検査技術科